



Wacom 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 株式会社ワコム 上場取引所 東
 コード番号 6727 URL https://www.wacom.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 井出 信孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 CFO (氏名) 町田 洋一 TEL 03-5337-6502
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家・金融機関向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	89,151	6.1	5,269	22.6	6,656	37.2	4,893	33.1
2023年3月期第3四半期	84,021	3.5	4,297	△65.2	4,851	△62.0	3,676	△61.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 5,587百万円 (43.3%) 2023年3月期第3四半期 3,900百万円 (△60.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	31.50	-
2023年3月期第3四半期	23.20	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	85,561	39,632	46.3	262.03
2023年3月期	75,279	40,490	53.8	259.15

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 39,632百万円 2023年3月期 40,490百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2024年3月期	-	0.00	-		
2024年3月期（予想）				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	3.8	5,300	163.3	6,700	133.6	4,900	173.4	31.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料 5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注) 詳細は、添付資料 11ページ 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	158,000,000株	2023年3月期	158,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	6,749,889株	2023年3月期	1,762,392株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	155,363,786株	2023年3月期3Q	158,451,766株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 5ページ 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	13
3. 補足情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）における当社グループを取り巻く事業環境において、世界経済はロシア・ウクライナ情勢に加えて中東地域に起因した地政学的緊張が続くなか、エネルギーや食料価格のインフレ率鈍化が示されるものの主要国での中央銀行による金融引き締め後の高い金利水準の維持などから、経済成長の減速が見られました。このような情勢下、IT市場では、モバイル、クラウド、ビッグデータ、ソーシャルネットワークなどに関連した技術革新や利便性向上などが見られました。なお、同期間の主要通貨に対する円相場は、各国の景気や金融・貿易政策等に対する見方を反映し、前年同期の平均レートと比較すると対ドルでは小幅に円安、対ユーロでも円安、対中国元でも僅かに円安となりました。なお、為替変動による連結業績への影響は、売上高を45億円押し上げ、営業利益を8億円押し上げたことと試算しております。

このような事業環境の下、当社グループは、2021年5月12日に発表した2025年3月期を最終年度とする中期経営方針『Wacom Chapter 3』及び2023年5月11日に発表したその「アップデート・レポート」における施策に則って、ペンやインクのデジタル技術で常に市場の主導権を握り、「意味深い成長（財務的な成長だけではなく、私たちのお客様が製品・サービスのユーザー体験を通じて感じる成長であり、私たちが日々の暮らしを営む社会やコミュニティ全体が新たな学びを積み重ねていくことであり、一人一人の自己実現を通じた成長で構成される多面的な意味を持つ成長）」を目指して事業運営にあたりました。当第3四半期連結累計期間では、XR（クロスリアリティ）、AI（人工知能）、セキュリティ（安全性）、教育などといった成長分野において、事業モデルを一段と進化させるための戦略を協業パートナーと推し進めるとともに、生産性やコスト構造の改善にも努め、経営判断の質の向上を通して経営課題に取り組みました。

ブランド製品事業については、創造性発揮のための最高体験をお客様にお届けするため、技術革新に取り組むとともに、顧客サービスの向上に努めました。当第3四半期連結累計期間では、主力のクリエイティブソリューションにおいて、ディスプレイ製品、ペンタブレット製品ともに売上高が前年同期を下回ったことから、ブランド製品事業全体としての売上高は、前年同期を下回りました。

テクノロジーソリューション事業については、デジタルペン技術（アクティブES：Active Electrostatic、EMR：Electro Magnetic Resonance）の事実上の標準化に取り組むとともに、タブレット・ノートPC市場での利用拡大や教育市場での事業機会の拡大に努めました。当第3四半期連結累計期間では、AESテクノロジーソリューション及びEMRテクノロジーソリューションともに売上高が前年同期を上回ったことから、テクノロジーソリューション事業全体としての売上高は、前年同期を上回りました。

中期経営方針の戦略軸に沿った全社的な取り組みとしては、当社グループの事業を取り巻く環境が大きく変化し、企業価値の中長期的な向上を目指す観点から当社グループの事業構造を変革させる必要が生じているとの認識の下で、中期経営方針『Wacom Chapter 3』の後半2年（2024年3月期から2025年3月期まで）を「事業構造変革期間」と位置付けました。上述の「アップデート・レポート」において示した8つの施策「① 商品ポートフォリオの刷新と粗利改善」「② 集中領域での事業構築」「③ 販路マネジメントの強化」「④ 在庫マネジメントの改善」「⑤ 顧客と用途の拡大」「⑥ 一般教育分野での事業開拓」「⑦ 資本政策と株主還元のアップデート」「⑧ 新ビジネスへの投資と立上げ」に引き続き取り組みました。

事業成長の促進を図るための取り組みとしては、新たなコア技術やビジネスモデルの開発への積極的な投資を行うとともに、2023年11月には、人間の創造性の源に思いを馳せ、アート、教育、テクノロジーなど多様な領域のパートナーと共創する「創造的混沌」をテーマとしたコミュニティイベント「Connected Ink（コネクテッド・インク）2023」を開催しました。最新のデジタルインク・テクノロジーを駆使した教育向けサービスやクリエイターの権利保護、創作過程の価値のAI解析による可視化、リモート環境での創作の質を飛躍的に向上させる最新技術、VR（仮想現実）空間での創作を支援するWacom VR Penの開発状況など、多様な分野でのパートナーとの取り組みを発表しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が89,151,482千円（前年同期比6.1%増）、営業利益は5,269,089千円（同22.6%増）、また、営業外収益において為替差益1,438,496千円（同177.4%増）を計上したことなどが影響し、経常利益は6,655,931千円（同37.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,893,381千円（同33.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、事業環境の変化に適合し、第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績説明におけるカテゴリーの範囲、名称を一部変更しております。

① ブランド製品事業

<クリエイティブソリューション>

クリエイティブソリューションは、市場環境の変化による影響を受けるなか、ディスプレイ製品、ペンタブレット製品ともに販売が減少し、前年同期の売上高を下回りました。

○ ディスプレイ製品

「Wacom Cintiq Pro (ワコム シンティック プロ)」は、2023年10月に「Wacom Cintiq Pro 17」及び「Wacom Cintiq Pro 22」を発表しラインアップを拡充したものの、既存モデルの需要が減少したことなどから、前年同期の売上高を下回りました。「Wacom Cintiq (ワコム シンティック)」は、需要が減少したことなどから、前年同期の売上高を下回りました。「Wacom One (ワコム ワン)」は、2023年8月に新たな液晶ペンタブレットを発表してラインアップの強化を図り、前年同期の売上高を小幅に上回りました。これらの結果、ディスプレイ製品全体の売上高は、前年同期を下回りました。

○ ペンタブレット製品

「Wacom Intuos Pro (ワコム インテュオス プロ)」は、経年に加えて需要が減少したことなどから、前年同期の売上高を大幅に下回りました。中価格帯モデルは、「Wacom Intuos (ワコム インテュオス)」に加えて、2023年8月に新たなペンタブレット「Wacom One (ワコム ワン)」を発表してラインアップの強化を図ったものの、「Wacom Intuos (ワコム インテュオス)」の需要が減少したことなどから、前年同期の売上高を僅かに下回りました。低価格帯モデル「One by Wacom (ワン バイ ワコム)」は、需要が減少したことなどから、前年同期の売上高を大幅に下回りました。これらの結果、ペンタブレット製品全体の売上高は、前年同期を下回りました。

<ビジネスソリューション>

流動的な市況や案件進捗の動向の影響があるなか、ビジネスソリューション全体の売上高は、前年同期を僅かに上回りました。

これらの結果、ブランド製品事業の売上高は27,235,950千円（前年同期比18.7%減）、セグメント損失は3,069,179千円（前年同期はセグメント損失1,310,243千円）となりました。

② テクノロジーソリューション事業

<AESテクノロジーソリューション>

市場環境の変化による影響を受けるなか、AESテクノロジーソリューション全体の売上高は、前年同期を上回りました。

<EMRテクノロジーソリューション>

OEM提供先の需要が増加したことから、EMRテクノロジーソリューション全体の売上高は、前年同期を上回りました。

これらの結果、テクノロジーソリューション事業の売上高は61,915,532千円（前年同期比22.5%増）、セグメント利益は12,051,277千円（同30.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、85,561,164千円となり、前連結会計年度末に比べ10,282,392千円増加しました。これは主に、売掛金が5,926,977千円、現金及び預金が5,528,901千円増加したことによります。

負債の残高は、45,929,461千円となり、前連結会計年度末に比べ11,140,353千円増加しました。これは主に、買掛金が5,141,372千円、長期借入金が5,000,000千円増加したことによります。

純資産の残高は、39,631,703千円となり、前連結会計年度末に比べ857,961千円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益4,893,381千円、為替換算調整勘定の増加642,864千円により増加し、自己株式の増加3,317,102千円、剰余金の配当3,124,752千円により減少したものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ7.5ポイント減少し、46.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、5,564,515千円増加（前年同期は8,561,928千円減少）し、当第3四半期連結会計期間末には25,544,419千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内訳は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、7,960,733千円（前年同期は9,140,125千円の使用）となりました。これは、当第3四半期連結累計期間において税金等調整前四半期純利益6,770,828千円、棚卸資産の減少額5,287,119千円及び仕入債務の増加額4,396,971千円などの収入要因が、売上債権の増加額5,749,472千円及び法人税等の支払額2,194,290千円などの支出要因を上回ったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,619,469千円（前年同期は2,736,501千円の使用）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1,339,180千円及び無形固定資産の取得による支出320,157千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2,063,500千円（前年同期は2,094,475千円の収入）となりました。主な内訳は、長期借入れによる収入7,000,000千円、自己株式の取得による支出3,357,517千円、配当金の支払額3,120,520千円及び短期借入金の返済による支出2,000,000千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2023年10月31日の「2024年3月期 第2四半期決算短信」で公表した2024年3月期の通期連結業績予想を次のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

2024年3月期通期連結業績予想の修正 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	109,000	4,500	5,200	3,950	25.42
今回修正予想 (B)	117,000	5,300	6,700	4,900	31.75
増減額 (B - A)	8,000	800	1,500	950	
増減率 (%)	7.3	17.8	28.8	24.1	
(ご参考) 前期通期実績 (2023年3月期)	112,730	2,013	2,868	1,792	11.34

想定為替レート

[今回改定] 1米ドル=142円、1ユーロ=155円

[前回公表時] 1米ドル=138円、1ユーロ=151円

(通期連結業績予想の修正理由)

当第3四半期連結累計期間の業績及び改定後の想定為替レートを反映した直近の事業セグメント別の業績見通しに基づき、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前回発表予想を上回る見通しとなりました。

売上高については、主に、テクノロジーソリューション事業において継続した需要増加を見込んでいること、ブランド製品事業において年末商戦での売上高が前回発表時の想定を下回ったこと及び第4四半期連結会計期間の売上高減少を見込んでいることを反映しております。

営業利益については、主に、上記理由による増収に伴う増益、ブランド製品事業において当第3四半期連結会計期間末に買付契約評価引当金を繰り入れたことを反映しております。

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、主に、上記の他、直近の為替相場が想定よりも円安に推移したことにより、営業外収益において為替差益が増加した影響を反映しております。

なお、上記のとおり、今回の予想修正にあたり、当期の想定為替レートを改定しております。

事業セグメント別の売上高、セグメント利益の予想値については、15ページ「3. 補足情報 2024年3月期 通期連結業績予想 (2) 事業セグメント別業績」をご覧ください。

配当予想については、現時点で修正はございません。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりますので、実際の業績は様々な要因により予想とは異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,015,518	25,544,419
売掛金	12,084,369	18,011,346
商品及び製品	13,438,774	9,310,291
仕掛品	607,548	459,599
原材料及び貯蔵品	7,679,862	7,679,557
その他	6,376,783	9,257,628
貸倒引当金	△30,282	△55,857
流動資産合計	60,172,572	70,206,983
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	6,207,921	6,845,505
有形固定資産合計	6,207,921	6,845,505
無形固定資産		
その他	1,496,616	1,571,613
無形固定資産合計	1,496,616	1,571,613
投資その他の資産		
その他	7,401,663	6,937,063
投資その他の資産合計	7,401,663	6,937,063
固定資産合計	15,106,200	15,354,181
資産合計	75,278,772	85,561,164
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,638,280	15,779,652
短期借入金	7,000,000	5,000,000
1年内返済予定の長期借入金	—	2,000,000
未払法人税等	765,586	94,649
賞与引当金	1,205,652	1,316,205
役員賞与引当金	18,404	45,585
製品保証引当金	266,707	210,282
情報セキュリティ対策引当金	104,497	—
買付契約評価引当金	2,047,696	1,432,210
事業構造改善引当金	186,756	957
その他	7,807,380	10,180,947
流動負債合計	30,040,958	36,060,487
固定負債		
長期借入金	2,000,000	7,000,000
退職給付に係る負債	1,078,712	1,123,176
資産除去債務	297,789	306,047
その他	1,371,649	1,439,751
固定負債合計	4,748,150	9,868,974
負債合計	34,789,108	45,929,461

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,203,469	4,203,469
資本剰余金	4,044,882	4,044,882
利益剰余金	32,341,161	34,106,631
自己株式	△1,176,497	△4,493,599
株主資本合計	39,413,015	37,861,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△256,673	△206,345
為替換算調整勘定	1,334,024	1,976,888
退職給付に係る調整累計額	△702	△223
その他の包括利益累計額合計	1,076,649	1,770,320
純資産合計	40,489,664	39,631,703
負債純資産合計	75,278,772	85,561,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	84,020,701	89,151,482
売上原価	57,535,259	61,315,599
売上総利益	26,485,442	27,835,883
販売費及び一般管理費	22,188,695	22,566,794
営業利益	4,296,747	5,269,089
営業外収益		
受取利息	16,588	12,758
為替差益	518,485	1,438,496
その他	72,835	58,540
営業外収益合計	607,908	1,509,794
営業外費用		
支払利息	36,516	65,854
棚卸資産廃棄損	—	47,111
その他	16,870	9,987
営業外費用合計	53,386	122,952
経常利益	4,851,269	6,655,931
特別利益		
固定資産売却益	1,581	4,097
受取保険金	—	50,000
情報セキュリティ対策引当金戻入額	—	95,456
特別利益合計	1,581	149,553
特別損失		
固定資産売却損	1,376	2,303
情報セキュリティ対策費	210,744	—
事業構造改善費用	—	26,504
その他	1,773	5,849
特別損失合計	213,893	34,656
税金等調整前四半期純利益	4,638,957	6,770,828
法人税等	963,411	1,877,447
四半期純利益	3,675,546	4,893,381
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,675,546	4,893,381

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,675,546	4,893,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△267,998	50,328
為替換算調整勘定	490,219	642,864
退職給付に係る調整額	1,920	479
その他の包括利益合計	224,141	693,671
四半期包括利益	3,899,687	5,587,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,899,687	5,587,052
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,638,957	6,770,828
減価償却費	1,613,437	1,865,926
株式報酬費用	21,502	22,070
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,319	25,427
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△638,799	70,109
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22,516	27,181
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	67,819	44,768
資産除去債務履行差額	2,170	—
受取利息及び受取配当金	△16,588	△12,758
支払利息	56,832	82,013
為替差損益 (△は益)	△957,866	△967,168
有形固定資産売却損益 (△は益)	△205	△1,794
有形固定資産除却損	1,773	5,849
売上債権の増減額 (△は増加)	529	△5,749,472
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,106,902	5,287,119
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,214,807	4,396,971
未払消費税等の増減額 (△は減少)	175,084	△84,778
その他	△687,392	△1,602,924
小計	△5,074,291	10,179,367
利息及び配当金の受取額	16,405	27,207
利息の支払額	△52,183	△51,551
法人税等の支払額	△4,030,056	△2,194,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,140,125	7,960,733
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	37,928
有形固定資産の取得による支出	△968,102	△1,339,180
無形固定資産の取得による支出	△166,564	△320,157
投資有価証券の取得による支出	△1,601,321	—
有形固定資産の売却による収入	1,813	5,643
敷金及び保証金の差入による支出	△4,343	△6,374
敷金及び保証金の回収による収入	9,547	2,671
資産除去債務の履行による支出	△7,531	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,736,501	△1,619,469
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,000,000	—
短期借入金の返済による支出	—	△2,000,000
長期借入れによる収入	—	7,000,000
自己株式の取得による支出	△1,167,911	△3,357,517
リース負債の返済による支出	△561,637	△585,463
配当金の支払額	△3,175,977	△3,120,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,094,475	△2,063,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,220,223	1,286,751
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,561,928	5,564,515
現金及び現金同等物の期首残高	21,788,861	19,979,904
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,226,933	25,544,419

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施し、当第3四半期連結累計期間において自己株式が999,961千円(1,635,000株)増加しております。また、2023年10月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施し、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,350,854千円(3,403,000株)増加しております。さらに、2023年7月14日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を実施し、当第3四半期連結累計期間において自己株式が33,714千円(50,504株)減少しております。

これらの結果、単元未満株式の買取りによる増加を含め、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は4,493,599千円(6,749,889株)となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランド製品 事業	テクノロジー ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,484,374	50,536,327	84,020,701	—	84,020,701
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	33,484,374	50,536,327	84,020,701	—	84,020,701
セグメント利益又は 損失(△)	△1,310,243	9,223,689	7,913,446	△3,616,699	4,296,747

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△3,616,699千円は、報告セグメントに属しない当社の管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ブランド製品 事業	テクノロジー ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,235,950	61,915,532	89,151,482	—	89,151,482
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	27,235,950	61,915,532	89,151,482	—	89,151,482
セグメント利益又は 損失(△)	△3,069,179	12,051,277	8,982,098	△3,713,009	5,269,089

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△3,713,009千円は、報告セグメントに属しない当社の管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2024年1月31日開催の取締役会において、以下のとおり借入を行うことを決議しました。2024年1月31日実行分については、同日に実行しております。

借入先	株式会社埼玉りそな銀行	株式会社三菱UFJ銀行
使途	短期運転資金	短期運転資金
借入金額	20億円	30億円
借入金利	基準金利＋スプレッド	基準金利＋スプレッド
借入実行日	2024年1月31日	2024年2月29日
返済予定日	2024年4月30日	2024年5月31日
担保、保証の有無	無担保、無保証	無担保、無保証

(自己株式の消却)

当社は、2024年1月31日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議しました。

1. 自己株式の消却を行う理由

現下の自己株式の使途、財務状況等を総合的に勘案した上で実施するものであります。

2. 消却の内容

- | | |
|---------------|---|
| (1) 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 消却する株式の総数 | 6,000,000株
(消却前の発行済株式総数に対する割合 3.80%) |
| (3) 消却予定日 | 2024年2月14日 |

3. 補足情報

2024年3月期 第3四半期決算概要（連結累計期間）

(1) 決算業績

	2023年3月期	2024年3月期	対前年同期増減	
	Q3累計実績	Q3累計実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
売上高	84,021	89,151	5,130	6.1%
営業利益	4,297	5,269	972	22.6%
(営業利益率)	5.1%	5.9%		
経常利益	4,851	6,656	1,805	37.2%
(経常利益率)	5.8%	7.5%		
当期純利益	3,676	4,893	1,217	33.1%
(当期純利益率)	4.4%	5.5%		
P/L換算為替レート（期中平均）	円	円	円	
(USドル)	135.40	142.76	7.36	5.4%
(ユーロ)	140.42	155.19	14.77	10.5%

注) 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」に相当します。

(2) 事業セグメント別業績

	2023年3月期	2024年3月期	対前年同期増減	
	Q3累計実績	Q3累計実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
ブランド製品事業				
売上高	33,485	27,236	-6,249	-18.7%
セグメント利益	-1,310	-3,069	-1,759	--
(利益率)	-3.9%	-11.3%		
テクノロジーソリューション事業				
売上高	50,536	61,915	11,379	22.5%
セグメント利益	9,224	12,051	2,827	30.7%
(利益率)	18.3%	19.5%		

注) 各事業のセグメント利益は、管理部門等のコーポレート費用の「調整額」の消去前です。

(3) 製品ライン別売上

	2023年3月期	2024年3月期	対前年同期増減	
	Q3累計実績	Q3累計実績	金額	率
(現地法人別)	百万円	百万円	百万円	
ブランド製品事業	33,485	27,236	-6,249	-18.7%
クリエイティブソリューション	30,131	23,769	-6,362	-21.1%
ディスプレイ	17,497	14,626	-2,871	-16.4%
(日本)	3,101	2,847	-254	-8.2%
(米国)	6,020	5,296	-724	-12.0%
(ドイツ)	3,930	3,639	-291	-7.4%
(アジア・オセアニア)	4,446	2,844	-1,602	-36.0%
ペンタブレット	12,634	9,143	-3,491	-27.6%
(日本)	937	713	-224	-23.9%
(米国)	3,181	3,003	-178	-5.6%
(ドイツ)	3,079	2,725	-354	-11.5%
(アジア・オセアニア)	5,437	2,702	-2,735	-50.3%
ビジネスソリューション	3,354	3,467	113	3.4%
(日本)	687	588	-99	-14.5%
(米国)	905	771	-134	-14.8%
(ドイツ)	1,545	1,743	198	12.9%
(アジア・オセアニア)	217	365	148	67.8%
テクノロジーソリューション事業	50,536	61,915	11,379	22.5%
AESテクノロジー	17,743	19,949	2,206	12.4%
EMRテクノロジー	32,793	41,966	9,173	28.0%
合計	84,021	89,151	5,130	6.1%

注) テクノロジーソリューション事業の売上はすべて日本に集計しています。

注) 2024年3月期での製品カテゴリーの見直しに伴い、ブランド製品事業の「モバイル他」は「モバイル」相当を「ディスプレイ」に、「他」相当を「ペンタブレット」に統合しています。その表示方法にに合わせて、テクノロジーソリューション事業の「EMRテクノロジー他」の「他」も省略しています。

(4) 現地法人別売上

	2023年3月期	2024年3月期	対前年同期増減	
	Q3累計実績	Q3累計実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
日本	55,262	66,063	10,801	19.5%
(うち、テクノロジーソリューション事業除く日本)	4,726	4,148	-578	-12.2%
米国	10,105	9,071	-1,034	-10.2%
ドイツ	8,553	8,107	-446	-5.2%
アジア・オセアニア	10,101	5,910	-4,191	-41.5%
合計	84,021	89,151	5,130	6.1%

注) テクノロジーソリューション事業の売上はすべて日本に集計しています。

注) ドイツは欧州・中東・アフリカ地域を含みます。アジア・オセアニアは中国、韓国、オーストラリア、シンガポール、台湾、インドの現地法人の合計です。

(5) 資本的支出、減価償却費、研究開発費

	2023年3月期	2024年3月期	対前年同期増減	
	Q3累計実績	Q3累計実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
資本的支出	1,093	1,809	716	65.5%
減価償却費	1,080	1,302	222	20.5%
研究開発費	4,969	5,632	663	13.3%

注) 資本的支出は、有形固定資産及び無形固定資産の新規取得金額の合計です。
注) 実績には、リース資産に関わる設備投資額及び減価償却費を含めていません。

(6) ROIC (投下資本利益率)、ROE (自己資本当期純利益率)

	2023年3月期	2024年3月期	対前年同期増減	
	Q3累計実績	Q3累計実績	金額	率
	百万円	百万円	百万円	
ROIC (投下資本利益率)	7.2%	9.3%	2.1ポイント	
税引後営業利益	2,981	3,656	675	22.6%
正味運転資本	29,598	25,410	-4,188	-14.1%
事業用資産	11,616	13,926	2,310	19.9%
ROE (自己資本当期純利益率)	8.5%	12.2%	3.7ポイント	

注) ROIC = 税引後営業利益 / *(正味運転資本+事業用資産) *分母は各要素の期首及び期末を平均したものです。
注) 事業用資産は、有形固定資産、無形固定資産、他資産(うち事業用と定義するもの)の合計です。

2024年3月期 通期連結業績予想

(1) 決算業績

	2023年3月期	2024年3月期	対前年同期増減		2024年3月期	対前回予想増減	
	通期実績	通期予想	金額	率	前回予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	
売上高	112,730	117,000	4,270	3.8%	109,000	8,000	7.3%
営業利益	2,013	5,300	3,287	163.3%	4,500	800	17.8%
(営業利益率)	1.8%	4.5%			4.1%		
経常利益	2,868	6,700	3,832	133.6%	5,200	1,500	28.8%
(経常利益率)	2.5%	5.7%			4.8%		
当期純利益	1,792	4,900	3,108	173.4%	3,950	950	24.1%
(当期純利益率)	1.6%	4.2%			3.6%		
P/L換算為替レート(期中平均)	円	円	円		円	円	
(USドル)	134.95	142.00	7.05	5.2%	138.00	4.00	2.9%
(ユーロ)	141.24	155.00	13.76	9.7%	151.00	4.00	2.6%

注) 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」に相当します。
注) 2024年3月期の前回予想は、2023年10月31日付の決算短信に添付した補足情報の数値です。
注) 通期予想の為替レートは2024年1月以降の想定為替レートを表示しています。

(2) 事業セグメント別業績

	2023年3月期	2024年3月期	対前年同期増減		2024年3月期	対前回予想増減	
	通期実績	通期予想	金額	率	前回予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	
ブランド製品事業							
売上高	41,161	35,000	-6,161	-15.0%	37,000	-2,000	-5.4%
セグメント利益	-3,981	-4,500	-519	--	-1,300	-3,200	--
(利益率)	-9.7%	-12.9%			-3.5%		
テクノロジーソリューション事業							
売上高	71,569	82,000	10,431	14.6%	72,000	10,000	13.9%
セグメント利益	10,756	15,000	4,244	39.5%	11,000	4,000	36.4%
(利益率)	15.0%	18.3%			15.3%		

注) 各事業のセグメント利益は、管理部門等のコーポレート費用の「調整額」の消去前です。
注) 製品ライン別現地法人別売上の通期予想は開示していません。

(3) 資本的支出、減価償却費、研究開発費

	2023年3月期	2024年3月期	対前年同期増減		2024年3月期	対前回予想増減	
	通期実績	通期予想	金額	率	前回予想	金額	率
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	
資本的支出	1,579	2,400	821	52.0%	2,700	-300	-11.1%
減価償却費	1,480	1,800	320	21.6%	1,800	0	0.0%
研究開発費	6,680	7,800	1,120	16.8%	8,000	-200	-2.5%

注) 資本的支出は、有形固定資産及び無形固定資産の新規取得金額の合計です。
注) 実績と予想には、リース資産に関わる設備投資額及び減価償却費を含めていません。